

2020
11
月

北房通信



令和2年11月1日発行 北房振興局 TEL0866-52-2111

北房振興局からのお知らせや管内の出来事などを不定期で発信します。

これからの北房の発展のために ～北房地域振興計画を策定中～



北房地域振興計画策定委員会の会議の様子

真庭市では今年度、各振興局で「地域振興計画」を策定することとなっています。これはそれぞれのエリアが地域の特色を生かしながらこれからのまちづくりを進めるための計画で、各振興局で現在計画を策定しているところです。

北房地域では、地域自主組織や地域づくり団

体の代表者など約20人で構成する『北房地域振興計画策定委員会』を8月に立ち上げ、計画について話し合いをしています。これに合わせて8月から9月にかけて住民アンケートも実施しました。北房地域にお住まいの1,000人(無作為抽出)を対象とした一般アンケートと北房中学校生徒へのアンケートを行いました。

- 「北房に住み続けたいか」
- 「北房の良いところはどこか」
- 「どんなまちにしていきたいか」

などについて意見を伺いました。北房中学校は全校生徒、一般アンケートでは451人(45.1%)の人から回答をいただきました。ご協力をいただいた皆さん、大変ありがとうございました。

今年度中に計画を公表できるよう策定委員会を定期的に開催し、北房の発展を目指す将来の設計図を作っていきます。

ダム湖の愛称を募集します！

北房振興局では、北房ダムの湖の愛称を募集しています。紅葉公園でのアウトドア事業などで大勢の人が訪れるようになった北房ダム一帯は、自然に囲まれた環境や公園から見下ろすダム湖の眺望などが好評で、一大魅力スポットとなる可能性を秘めています。これからの北房の振興を図るためにも欠かせない場所です。

地域の人にもっと親しんでいただき、外からも大勢の人が遊びに来る場所にするために、みんなで愛称を付けましょう！

応募用紙は北房振興局や北房文化センターなどに置いているほか、真庭市のホームページからもダウンロードできます。北房の皆さん、ぜひご応募ください！

★募集期間は11月1日から11月30日まで

愛称募集

北房ダム ダム湖に愛称を！

真庭市阿仁にある北房ダム。紅葉公園から見下ろすダム湖一帯の風景は秋から春にかけて、秋には紅葉といっただけの四季折々の表情豊かな美しい場所です。遊歩道はカヌーなどのレジャーも楽しむことができます。この素晴らしい場所をもっと皆さんに知っていただき、大勢の人が遊んで心癒やされる場所にするよう、ダム湖の愛称を募集します。



応募方法	メール、FAX、郵送のいずれかにより応募 ※メールの場合は本文に下記「記入事項」を入力いただきお送りください。 ※FAX、郵送の場合は裏面の「北房ダムダム湖愛称募集応募用紙」を添付ください。
記入事項	ダム湖の愛称、その愛称とした理由、住所、氏名、年齢、性別、職業、連絡先を明記してください。
応募点数	一人3点まで
賞金	募集賞金1点(賞状・北房の特産品(1万円相当)をお送りします)
その他	応募者に連絡先をお知らせするとともに、愛称、その愛称とした理由のほか住所(市町村レベル)、氏名、年齢、性別、職業、連絡先を郵送致します。応募に際してご提供いただいた個人情報、名称選考の目的のみに使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

応募締切
令和2年11月30日(月)

応募先・問い合わせ先
真庭市北房振興局地域振興課

〒716-1433
真庭市真庭市下町2-48
TEL:0866-52-2111 FAX:0866-52-4496
E-mail:chikii_hb@city.manwa.jp

募集チラシ(裏面が応募用紙になっています)

"ベジ食べるファースト"で 一口目は野菜から ～ほくぼう健康づくり実行委員会～



北房小学校で行った普及啓発活動

みなさんは食事の時、何から食べますか？
「好きなものから」「嫌いなものから」など人それぞれだと思いますが、これからは「野菜から」にしませんか。

ほくぼう健康づくり実行委員会では、今年度"ベジ食べるファースト"という取り組みを進めています。これは、「一口目は野菜から、よく噛んで食べる」ことを推奨するもので、真庭市の「糖尿病予備軍が多い」という現状に合わせて行っています。同実行委員会は、民生委員会や愛育委員会、栄養改善協議会などの健康づくりに関わる団体の代表で組織され、北房地区の

皆さんの健康づくりを進めていくための普及啓発などの活動をしています。

"ベジ食べるファースト"の活動として、ポイントを分かりやすく見える化したチラシや旬の野菜を使って簡単にできるレシピを配布したり、こどもたちに向けた出前健康教育を実施したりしています。

皆さんもこれからは一口目は野菜から。"ベジ食べるファースト"を実践して、健康な日々をおくりましょう。



ベジ食べるファーストのチラシ

廃校利活用の状況

平成30年に4小学校と5幼稚園・保育園を統合し、北房小学校と北房こども園が誕生しました。以来、旧校舎や園舎は遊休施設となっていました。だんだんと活用が進んでいます。現在活用されている施設についてお知らせします。

旧施設名	活用状況
中津井小学校 中津井幼稚園	社会福祉法人吉美会が特別養護老人ホーム「花岡荘」の建替用地として活用。現在建設工事中で、来年8月に完成予定です。
上水田幼稚園	NPO法人ら・サングリエが元気ががやきエクササイズなどの介護予防を中心に、誰でも参加できる地域での支え合い活動の拠点として活用。
水田小学校	三井住友建設が中国自動車道橋梁工事の現場事務所や資材置き場として活用。令和4年12月まで。(遊具は使用できます)
北房中央保育園	複数の事業者がキムチ工場、旅人食堂、ぶどう集荷場として部分活用。
北房水田保育園	NPO法人真庭いきいき会が就業継続支援作業所として活用。

※現在、皆部小学校、皆部幼稚園、上水田小学校の活用公募をしています。(11月30日まで)